



認知症サポーター養成講座開催しました

～植田中学校1年生(令和元年11月21日)～



認知症サポーターの
キャラクターのロバ隊

認知症について正しい理解を持って頂くために、中学1年生を対象として講座を開催しました。“認知症”という言葉は聞いたことがあってもどのような病気なのか知らない生徒さんも多く、みなさん真剣な表情で話を聞いていました。また、認知症の方への対応方法を学んでもらった寸劇では、学年部の先生が登場したことで笑いも起こっており、楽しく学んで頂けたようでした。

受講した生徒さんからは、「今日学んだことを家族や周りの人に伝えて、みんなに認知症について知ってもらいたい」や「オレンジリングを鞆に付けて困っているお年寄りを見かけたら助けてあげたい」などの優しい思いのこもった感想が多く聞かれました。

認知症サポーターは特別なことをする人ではなく、“認知症について正しく理解し偏見を持たず、認知症の人やその家族に対して温かい目で見守ること”や“自分にできることを考え実践すること”を役割とします。

認知症サポーター養成講座に興味がある方、団体の方がいましたら、少人数での受講も可能ですので、上記問い合わせ先までご連絡ください。



受講者に
配布します

認知症サポーターの証
(オレンジリング)



地域ネットワーク会議開催



令和元年12月11日、植田校区と宗方校区の自治委員や民生委員、介護サービス事業所、ケアマネジャーが集まり“防災”について考えました。

熊本地震を経験した方を講師に招き、災害に対する日頃の備えや連携することの大切さ等について学び、“もし自分の住んでいる地域で災害が起きた時にどのような対応ができるのか”“それぞれの持つ役割は何か”“地域の課題は何か”など参加者で協議しました。



話し合いの中で、「避難所までは坂道が多く高齢者は行けない」「個人情報壁になりなかなか踏み込んだ話ができない」「日頃からの関係づくり、声掛けあえる関係が非常時にも大切になる」等様々な意見や課題が上がりました。

今回参加者の方から頂いたご意見や見えてきた地域の課題を包括でも協議し、課題解決へと繋がるよう、また住みよい地域となるよう、地域の方や専門職の方との連携や関わりを深めていきたいと思っております。

